

えしやじょうり

会者定離はひとのならない

今はじめたるにはあらず

何ぞ深く歎かんや

法然上人『流罪のとき門弟に示されける御詞』

御書

会者定離は

ひとのならない

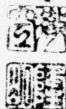
今はじめたるには

あらず

何ぞ深く歎かんや

法然上人

禅林寺法主徹空隆明



その人が

ほほえんでいるからといって

涙を流していないわけではない。

じっとこらえて、

あなたを思いやってくれている。

あなたの悲しみも、苦しみも

すべてその瞳に映っている。

涙の暖かさを感じていてくれる。

言葉に出ぬ優しさには、

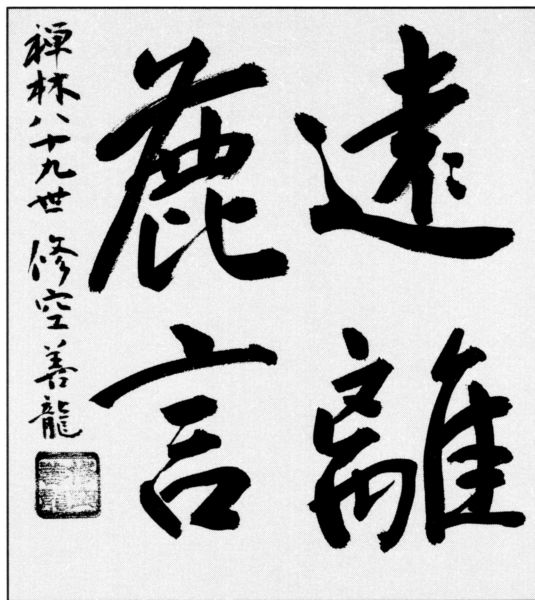
哀しみが含まれている。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長 五十嵐隆明 現下のご染筆です。前々号の色紙は、兵庫県飾磨郡在住 本城イサ子様に贈呈いたします。ご希望の方はハガキで住所・氏名・年齢明記の上、下記へお申し込み下さい。二月十五日に、抽籤で一名に進呈。

おんり ぞこん
遠離麁言 (大経)

思いやりのない言葉を遠ざけよ



「あなたにはわからない」

いちばん言いたくない言葉

いちばん聞きたくない言葉

いちばんかわいそうな言葉

いちばん我慢したい言葉

ほんとうは、

いちばんわかって欲しいのに

言うのは簡単

でも言ってしまったって何が残るの？

あきらめないで

わかりあえると信じたい

わかりあおうとすることが

いちばん素晴らしい

総本山 永観堂 禅林寺

応声即現

声に応じて、仏、即ち現げんじたもう

即應 現声

総本山 禪林寺 八十九世 修空



小さな音に目を覚ます。

耳の奥底に執拗しつように響いてくるその音は

救急車だ。

ああ、誰かがまた救いを求めている。

サイレンを鳴らし夜の闇を疾走する車。

何処かで誰かがこの音を待っているのだ。

そして、呼び声に覚えて急ぐ人がいる。

私の為にも待つ人がいる。

貪・瞋・痴とんじんちの三毒の火坑に落ちなんとする

私を救うために、蓮華の座から立上り、

半歩御足を踏み出して。

慈いつくしみの眼を持ち、私のかすかな声を、

聞き漏らすまいとその人は立ちつくす。

総本山 永観堂 禪林寺

右の色紙は管長 小本曾善龍祝下のご染筆です。前々号の色紙は、兵庫県高砂市在住 馬場みどり様に贈呈いたします。ご希望の方はハガキで住所・氏名・年齢明記の上、下記へお申し込み下さい。四月十五日に、抽籤で一名に進呈。

蔡華 さいけ

仏を念ずる者は、人中の芬陀利華なり

（観無量寿經）

蔡華 白蓮華

禪林八十九世修室



「人のへそからゴミをとっても、へそはへそ。だけど、人ごみから人をとると、ゴミが残る」という詩があります。行楽地で人が去った跡の狼藉の様子を述べただけでなく、人としての正しい生き方をしないと、ただのゴミという警句です。

經典には、念仏する者は芬陀利華であると言えられています。善導大師は、これを蔡華と釈されました。ゴミや泥の中にあっても汚れに染まらずに凍と咲く白蓮華のことです。ゴミのように一生を終るのではなく、人として本当に生きる答えが南無阿彌陀仏であり、「生きて身をはちすの上に宿す」ことが念仏する者の生き甲斐なのです。

総本山 永観堂 禪林寺

右の色紙は管長 小木曾善龍院下のご染筆です。前々号の色紙は、兵庫県加古川市在住 岡野宣夫様に贈呈いたします。ご希望の方はハガキで住所・氏名・年齢明記の上、下記へお申し込み下さい。五月十五日に、抽籤で一名に進呈。

和顔施

和顔愛語

禪林八十九世修空

世の暗さを嘆いていても、何も変わりません。

あなたと私が笑顔を見せないと、世の中は明るくなりません。

フォト・ジャーナリストの永倉洋海さんは、

「みんなの笑顔が広がれば、やがて日本の皆に、世界の皆に広まって、それが世界の平和に繋がるんだよ。」と、子どもたちに語りかけています。

悲惨な戦場の中にも、子どもたちの笑顔を見つけた永倉さんの実感のこもった言葉です。

和顔愛語。穏やかな笑顔と温かい言葉を総ての人に振る舞う。如来様の大切な教えの一つです。

総本山 永観堂 禪林寺

右の色紙は管長 小木曾善龍猊下のご染筆です。前々号の色紙は、兵庫県高砂市在住 山田フジ子様へ贈呈いたします。ご希望の方はハガキで住所・氏名・年齢明記の上、下記へお申し込み下さい。六月十五日に、抽籤で一名に進呈。

『追孝』

死せん後には追孝を本として
報恩のつとめを致すべし。

(大方便仏、報恩経)

追孝



禪林ハ十九世修空



親の遺体が白いお骨となって、
釜から出てきた。大きかった体
が、小さな骨壺に納まった。
冷たかった遺体が、生きてい
た時よりも温かくなって私の胸
に抱かれている。

親に負ぶってもらった覚えは
あるけれど、親を抱きかかえた
ことは今までになかった。

これと言った親孝行をしたと
は言えない。

仏壇の前に骨壺を置いて、手
を合わせた。これからは、一心
にお念仏を唱えていこう。

総本山 永観堂 禪林寺

憎しみは、憎しみによって止まず。
ただ愛によってのみ止む

(法句經)



中川万次郎の養女となった十七歳の太石よねは、その義父に両腕を斬り落とされた。明治三十八年の悲惨な事件であった。しかし、よねは、検事の取調べにも、義父万次郎をかばいつづけた。

己の身も運命も、憎まずに、在るがままに受け入れたよねは、出家して順教の名を得た。そして、慈悲平等の心で仏道を実践した。

『たなごころ』

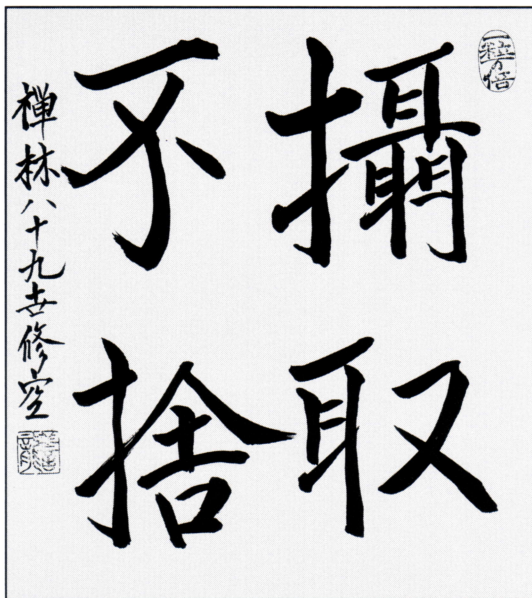
あわせんすべもなき身には
ただ南無仏と となえのみこそ』

大石順教尼 詠歌

総本山 永観堂 禅林寺

帰依佛

阿弥陀如来のおはからいにお任せする



小林一茶の人生は、家庭的には不遇なものであった。幼少時は、継母にいじめられ、結婚しても、妻や子供には先立たれた。その一茶の晩年の言葉です。

「さて後生ごようの一大事は、其身を如来の御前に投げ出して、地獄なりとも極楽なりとも、あなた様の御はからひ次第、あそばされくだされませと御頼み申すばかり也」

自分自身のすべてを阿弥陀如来のおはからいにお任せする、と言うのである。信心の姿に違いない。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長 小木曾善龍親下のご染筆です。前々号の色紙は、京都府八幡市在住 山田智恵子様に贈呈いたします。ご希望の方はハガキで住所・氏名・年齢明記の上、下記へお申し込み下さい。九月十五日に、抽籤で一名に進呈。

不殺生

すべてのいのちを大切に

合掌

禪林八十九寺修室



ノーベル平和賞を受賞したケニアの副環境大臣マータイさんが来日して、「もったいない」という言葉に感銘を受けたそうです。この言葉を世界に広めたいと、早速国連の閣僚級会議で次のように演説しています。

「日本では、消費削減(リデュース)、再使用(リユース)、再利用(リサイクル)、修理(リペア)の四つのRを『もったいない』の一言で表している。環境保護には、もったいないの精神が大切です」と。

物に手を合わせ、物の命を大切にするのが「もったいない」の心です。これに「おかげさま」の心を添えて、ものを拜んで活かしていこうというのが、不殺生の教えです。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長 小木曾善龍 猊下のご染筆です。前々号の色紙は、京都市西京区在住 塩田清美様に贈呈いたします。ご希望の方はハガキで住所・氏名・年齢明記の上、下記へお申し込み下さい。十月十五日に、抽籤で一名に進呈。

聞もん施せ

— 人の悩みを聞くのも
尊い菩薩行です —

聞 佛 法 處

禪林ハ十九世修空



十八歳で、比叡山の叡空上人のもとに身を投じられて、出家の道を歩まれた法然上人は、浄土宗を開かれてからも「吉水の聖」と尊敬されて、墨染の念仏聖としての生涯をまっとうされました。「聖」とは「耳」＋「呈」。「耳を与える人」という説があります。混沌の世にあつて、苦しみ悩む人々の呻きを同悲の心で聞きとめて、共に念佛に摂取される喜びを開示されたからこそ「念仏聖」と称されたのです。

今こそ、人々の苦悩を真摯に聞かせていただく「聞施」が必要です。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長・小木曾善龍親下のご染筆です。前々号の色紙は、兵庫県小野市在住藤木民雄様に贈呈いたします。ご希望の方はハガキで住所・氏名・年齢明記の上、下記へお申し込み下さい。十一月十五日に、抽籤で一名に進呈。

薫くん
習じゅう

よき人の香りは
風にさからいて薫ず

法句経



「薫陶くんとう」という言葉は、薫る陶器と書きます。床の間や仏前に置く大切な器を作るとき、工房に香を焚きしめ土にしみこませて焼くと、ほのかに薫る陶器ができるのです。ここから、師の徳が弟子に及ぼす教育的な働きを薫陶というようになりました。

仏教では「薫習くんじゅう」といいます。戒という、人として守らねばならない徳目を実践する人は、その生き方が良き香となって周囲にすぐれた影響を与えることを、釈尊は薫習くんじゅうという言葉で示されました。

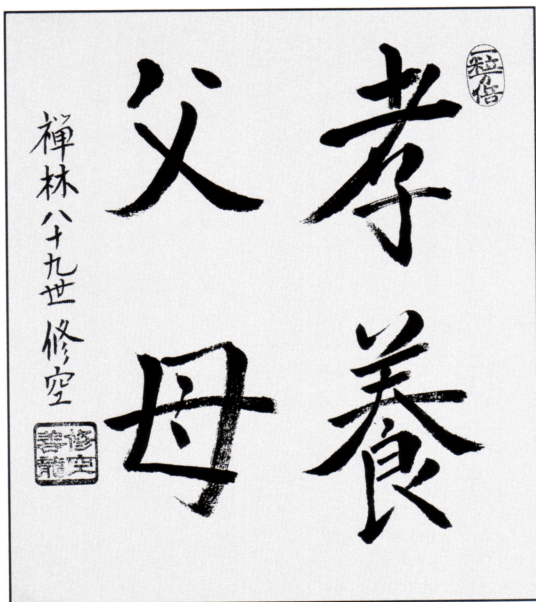
念仏する人は、かならず良き香を周りに薫習くんじゅうさせるのです。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長・小木曾善龍院下の二染筆です。前々号の色紙は、京都市下京区在住の弘子様に贈呈いたします。ご希望の方はハガキで住所・氏名・年齢明記の上、下記へお申し込み下さい。十二月十日に、抽籤で一名に進呈。

生きとし生けるものに
慈愛なき者、かかる者は
賤しき人と知るべし。

(経集)



いじめの問題がある小学生のクラスで、お互いのことを褒めるカードを交換させてみました。その結果、子ども達に大きな変化が生まれました。

クラスから、乱暴な言動が少なくなり、明るい声が増えていきました。そして、教室からいじめが消えていきました。

お互いに認めあい、励ましあい、そして、自信がなかった子どもたちは、意欲がわいてきます。

問題の一つ一つを解決するよりも、共感ある喜びを持つことが、根っこからの解決につながります。悪循環から良循環に変える大きな力になります。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長小末曾善龍猊下のご染筆です。前々号の色紙は、愛知県豊明市在住吉田真一郎様に贈呈いたします。ご希望の方はハガキで住所・氏名・年齢明記の上、下記へお申し込み下さい。一月十五日に、抽籤で一名に進呈。